

政策シート 政策名 02 生涯スポーツを楽しむ機会の拡大

予算費目名 01 スポーツ文化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを継承し、バラスポーツ団体や地元トップチームとの連携による新たな大型イベントの誘致活動やトップアスリートと市民との交流を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、シティマラソンやトップアスリート連携事業などのスポーツイベントについても開催に向けて工夫を凝らし、競技スポーツや生涯スポーツの振興を図る。スポーツ施設については指定管理者との連携のもと、感染症対策を徹底し、安心してスポーツに取り組める環境づくりを行う。さらに、ビーチ・マリンスポーツ推進事業については江之島ビーチコート建設に向けた準備を進めるとともに、浜名湖沿岸のマリンスポーツに必要な施設整備の検討を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑧成長・雇用
⑭海洋資源	⑰実施手段

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,672,081	2,285,111	2,051,822	1,688,029		
決算	2,616,543	2,243,798	1,962,802			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	117,600	117,600	117,600	79,800		
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,734,143	2,361,398	2,080,402	1,767,829		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スポーツ実施率(1回以上/週 実施している人の割合)	%	目標	65	65	65	65	65	65
		実績	42.5	49.5	50			
大型スポーツイベント等誘致数	件	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	13	3	14			
トップアスリート交流人数	人	目標			1,500	1,650	1,820	2,000
		実績			2,124			

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

2020年度から延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、ブラジルホストタウンとして事前合宿の対応等を行った。本市ゆかりの選手も活躍し、スポーツの持つ力の大きさを実感した。シティマラソンをはじめとする大型スポーツイベントは中止を余儀なくされたが、次回開催に向けて関係団体とともに検討を進めた。スポーツ施設については、緊急事態宣言の発令時に開館時間制限の対応をしたほか、解除後も指定管理者と連携し、感染症対策を徹底した上で、安全にスポーツできる環境づくりに努めた。江之島ビーチコートについては、基本計画を踏まえて、競技団体等と意見交換を行いながら、競技者や大会運営の視点でも利用しやすい施設となるように基本設計作業を進めた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	不明
------	----

2020年度と同じく新型コロナウイルス感染症の拡大のため、大会の中止や施設の休館を余儀なくされた一年であった。コロナに翻弄された1年となったが、感染症対策の徹底とデジタルの活用により、スポーツ活動ができる環境づくりを進めた。市民アンケートの結果を見ると、スポーツ実施率はわずかながらも向上しており、また、サークルや地域活動に参加するのではなく、個々にスポーツを行う等、多様化の傾向が見られる。こうした市民のニーズを踏まえ、今後の取り組みに反映させ、スポーツ実施率の更なる向上を目指していく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	スポーツ普及・活性化事業	○	○	○		16,372	5,032	1.5			0.3	
2	ブラジルホストタウン交流事業	—	○	○	○		—					
3	大型スポーツイベント等誘致事業	○	○	○		32,225	24,525	1.1				
4	ビーチ・マリンスポーツ推進事業	○	○	○		176,731	174,631	0.3				
5	スポーツ発信交流事業	—	○	○		34,480	16,000	2.6			0.1	
6	生涯スポーツ振興事業	—	—	—		78,004	68,064	1.3			0.3	
7	競技スポーツ振興事業	—	○	○		16,510	11,050	0.7			0.2	
8	スポーツ施設運営事業	—	○	○		1,396,445	1,378,945	2.5				
9	スポーツ施設整備基金積立金	—				913	213	0.1				
10	スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)	—				16,149	9,569	0.9			0.1	
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,767,829	1,688,029	11.0			1.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 スポーツ普及・活性化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ協会など本市のスポーツ振興を支える団体と連携を図り、市民のスポーツ活動を活発化させ、市民のスポーツ実施率を向上させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-3(3)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	118						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	4,678	4,041	6,633	5,032		
	決算	4,678	3,370	6,217			
	国・県支出		444	525	587		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,678	2,926	5,692	4,445		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,960	8,960	8,960	11,340		
人工	正規	1	1	1	1.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.3		
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,638	12,330	15,177	16,372		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トップアスリート交流人数(人)			目標			1,500	1,650	1,820	2,000
			実績			2,124			
パラアスリート交流人数(人)	Ⅲ-3(3) ア	118	目標			450	500	550	600
			実績			675			
地域スポーツ指導者登録者数(人)			目標	355	360	370	380	390	405
			実績	294	288	293			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

06

基本政策

01

政策

02

予算費目

01

所属コード

000625000

事業

01

(担当課)

スポーツ振興課

(責任者)

金子哲也

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・トップアスリート連携事業により、トップアスリートのプレーを間近に感じることでスポーツに対する関心を抱かせ、スポーツ実施に繋げていく。

・「三遠ネオフェニックス(バスケットボール)」「アグレミーナ浜松(フットサル)」「ブレス浜松(バレーボール)」「ジュビロ磐田(サッカー)」などのプロスポーツチームとの連携を図る。

・スポーツ健康相談事業によりメディカルチェックや講演会による啓発を行う。

・浜松市地域スポーツ指導者養成講習会事業(各地域でのスポーツ活動の中心となる指導者を養成する)によりスポーツ活動の応援団を増やす。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・トップアスリート連携事業などを実施し、するスポーツの推進を図った。

・トップアスリート連携事業により、「ホンダFC」、「三遠フェニックス」、「スズキアスリートクラブ」、「ヤマハ発動機ジュビロ」、「ヤマハ野球部」の選手を幼稚園や小中学校に派遣し、トップアスリートのプレーを間近で感じてもらい「みるスポーツ」の振興を図った。

・「スポーツ健康相談事業」において医学的な啓発活動を行うことにより、ケガの予防などの意識を高めた。

・「地域スポーツ指導者講習会養成事業」を実施し地域スポーツ振興のリーダーを育成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、接触を避けるためトップアスリート連携事業においては、「おうちトレーニング動画」と題して動画による配信を行った。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・スポーツ推進審議会において、第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗状況について「する」「みる」「ささえる」のそれぞれの視点で確認した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・トップアスリート連携事業では、パラスポーツ選手の派遣を加え、障がい者スポーツへの理解を深めていく。

・地域スポーツ指導者について、広報周知を強化し、登録者の確保に努める。

・第2期浜松市スポーツ推進計画の進捗管理をスポーツ推進審議会を中心に実施していく。

・第3期浜松市スポーツ推進計画の策定に向けて、検討を始める。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.118】

・地元のトップアスリート等を学校等に派遣する「トップアスリート連携事業」により、スポーツへの興味を抱いてもらう。

・トップアスリート連携事業にパラアスリートの派遣を加え、パラスポーツへの理解と啓発に努める。

事業シート (事業名) 02 ブラジルホストタウン交流事業 【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、ブラジルホストタウンの取組みを推進していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2018	2021	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						
重点戦略	○	(戦略項目)	201						

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
								⑦実施手段	
事業とゴールの関連性	③ブラジルオリンピック・パラリンピック選手事前合宿受け入れで、選手との交流等により、国籍や障害の有無にかかわらず、スポーツに関わる市民が増えることで、市民の健康的な生活を促進する。 ⑦ブラジルオリンピック・パラリンピック選手事前合宿受け入れを機会に、市民とともに国際的なパートナーシップを築き上げ、多文化共生社会を推進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	80,091	102,076	24,611	-	-	-
	決算	66,158	102,076	23,698			
	国・県支出						
	市債						
	その他	650					
	一般財源 一般会計繰入金	65,508	102,076	23,698			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		31,920	32,620	31,220			
人工	正規	4	4	4			
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1	1	1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		98,078	134,696	54,918			

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ブラジル選手団との交流人数	Ⅲ-2(2) イ	201	目標	1,700	1,700	9,300	-	-	-
			実績	1,664	880	2,146	-	-	-
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

06

基本政策

01

政策

02

予算費目

01

所属コード

000625000

事業

02

(担当課)

スポーツ振興課

(責任者)

松井由和

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックブラジル選手団の事前合宿受け入れ
- ・ブラジル選手団の円滑な合宿受け入れに向け、宿泊、食事、輸送、練習会場などの環境について、ブラジルオリンピック・パラリンピック両委員会と事前調整
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック推進本部の要請に伴う感染症対策を盛り込んだ選手等受け入れマニュアルの作成
- ・Torcida BRASIL(ブラジルパラリンピック選手団サポートボランティア)に事前合宿受け入れ期間中の活動の場を提供
- ・オリパラ教育浜松市内大学連携協議会と連携し市内小中学生とブラジルパラリンピック選手とのリモート交流の実施

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

【達成】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに参加するブラジルオリンピック選手団3競技76名、ブラジルパラリンピック選手団14競技388名の事前合宿を受け入れた。
- ・ブラジル選手団の円滑な合宿受け入れに向け、宿泊、食事、輸送、練習会場などの環境について、ブラジルオリンピック・パラリンピック両委員会と14回に及ぶWEB会議を実施した。
- ・東京オリンピック・パラリンピック推進本部の要請に伴う感染症対策を図った選手等受け入れマニュアルを作成した。
- ・Torcida BRASIL(ブラジルパラリンピック選手団サポートボランティア)延べ517名が事前合宿受け入れに係るボランティア活動に参加した。
- ・オリパラ教育浜松市内大学連携協議会と連携した市内小中学生とブラジルパラリンピック選手とのリモート交流を計2回開催した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

東京オリンピック・パラリンピックでは、国の方針により事前合宿地も含め新型コロナウイルス感染症対策として、選手団等に対する厳しい検査体制や行動制限が課せられるマニュアルの作成を求められた。マニュアルに沿った事前合宿の受け入れを行ったため、練習見学や練習相手など選手団との直接的な交流の場を設けることができなかった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

東京2020オリンピック・パラリンピックに参加するブラジル選手団の事前合宿受け入れを行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じるための受け入れマニュアルを作成した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2021年度で事業終了

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.201】

2021年度で事業終了

事業シート (事業名) 03 大型スポーツイベント等誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大型スポーツイベントの開催やトップアスリート合宿の誘致などを通じて、市民の皆様にはスポーツの感動に触れていただくため「みるスポーツ」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	41	197	199	200			

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健				⑧成長・雇用		
						⑩実施手段		
事業とゴールの 関連性		③東京オリンピック・パラリンピックや国際大会、全国大会などを通じ、市民がスポーツにおける感動に触れることで、市民の健康的な生活を促進する。 ⑧国際的なスポーツイベントなどを通じ、国際誘客を促進し、交流人口を拡大する。 ⑩世界のアスリートを受け入れることを契機に、国際的なパートナーシップを築き上げ、多文化共生社会を促進する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	79,775	6,335	13,217	24,525		
	決算	77,968	6,335	11,574			
	国・県支出		500	4,616	500		
	市債						
	その他	650					
	一般財源 一般会計繰入金	77,318	5,835	6,958	24,025		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		15,540	12,460	12,460	7,700		
人工	正規	2	2	2	1.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		93,508	18,795	24,034	32,225		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
大型スポーツイベント等誘致数(件)		41,199	目標	10	10	10	10	10	10
			実績	13	3	14			
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人)		200	目標	36	-	-	-	-	-
			実績	31	-	-	-	-	-
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致等	Ⅲ-2(2)イ	197	目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
			実績			調査研究・ 目標設定			
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022重点戦略項目No.41、197、199、200】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前キャンプ誘致・支援活動
- ・大会組織委員会、県などと連携し、東京2020オリンピック・パラリンピックに係る聖火リレーを実施
- ・浜松市内で開催されるスポーツ大会への開催事業費補助金の交付
- ・プロスポーツ支援について、地元プロスポーツチームと具体的な支援方法について調整を行うとともに、市内小中学校10校を対象にチームが作成した紹介動画の視聴及び意識調査を実施
- ・大型スポーツイベント誘致に向けた競技団体へのヒアリング



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

【達成】

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前キャンプ誘致・支援活動を行った。
- ・大会組織委員会、県などと連携し、規模縮小などはあったが東京2020オリンピック・パラリンピックに係る聖火リレーを実施した。
- ・浜松市で開催されるスポーツ大会に対し開催事業費補助金の交付を行った。
- ・プロスポーツ支援について、地元プロスポーツチームと具体的な支援方法について調整を行うとともに、市内小中学校10校を対象にチームが作成した紹介動画の視聴及び意識調査を実施した。
- ・大型スポーツイベント誘致に向けた競技団体へのヒアリングを実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

スポーツイベントの開催については、開催条件などが緩和されてはいるものの、新型コロナウイルス感染症の観戦拡大に伴い、多くの国際大会やスポーツイベントが延期や中止となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 人工

- ・大型スポーツイベントの誘致に向け、国際大会に必要な要件などの調査研究を行った。
- ・プロスポーツ支援について、具体的な支援方法について地元プロスポーツチームと調整を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各競技団体と連携しながら、大型スポーツイベント誘致に向けた準備を進める。
- ・プロスポーツ支援は、地元プロチームのホーム戦への市内小中学生の観戦招待やアンケートを実施するなど、興味関心を高めるための取り組みを実施する。
- ・ブラインドサッカー日本選手権を開催するとともに、体験会を実施する等大会に向けた機運醸成に取り組む。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.41、197、199、200】

- ・各競技団体と連携しながら、大型スポーツイベント誘致に向けた調整を行う

- ・各種国際大会、全国大会の開催誘致及び大会運営を支援する大会補助金の交付

補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 03 大型スポーツイベント等誘致事業

◇【2019～2022】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
41 199	国際大会や全国大会の誘致、大会前の合宿地として選手団の受け入れを行うことにより、市民の皆様がトップレベルのプレーを目の当たりにする環境を築くとともに、外国人等の宿泊客者数の増加を図る。	国際大会や全国大会の誘致、大会前の合宿地として選手団の受け入れを行うことにより、市民の皆様がトップレベルのプレーを目の当たりにする環境を築くとともに、外国人等の宿泊客者数の増加を図る。	国際大会や全国大会の誘致やナショナルチームの大会前の合宿地として選手団の受け入れを行うことにより、市民の皆様がトップレベルのプレーを目の当たりにする環境を築くとともに、外国人等の宿泊客者数の増加を図る。 聖火リレーやライブサイトの開催地になることで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への関わりの契機につなげる。	国際大会や全国大会の誘致やナショナルチームの大会前の合宿地として選手団の受け入れを行うことにより、市民の皆様がトップレベルのプレーを目の当たりにする環境を築くとともに、外国人等の宿泊客者数の増加を図る。
200	ラグビーワールドカップ2019の公認チームキャンプ地として事前合宿の受け入れ契機として、欧米豪からの外国人宿泊客者数の増加を図る。			

事業シート (事業名) 04 ビーチ・マリンスポーツ推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に基づき、大会誘致ゾーンや観光・交流ゾーンなど拠点となる地区の整備を行い、ビーチ・マリンスポーツを普及させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						
重点戦略	○	(戦略項目)	196	197					

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑭海洋資源
事業とゴールの 関連性	海や湖を利用する側として、自然の大切さを知り、共生できる取り組みを行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,675	12,706	45,439	174,631		
	決算	4,616	11,789	43,720			
	国・県支出				3,577		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,616	11,789	43,720	171,054		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,800	2,800	2,800	2,100		
人工	正規	0	0	0	0.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		7,416	14,589	46,520	176,731		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
江之島ビーチコートの整備		196	目標	サブコト完成	基本計画 ・設計	基本設計	土壌調査	実施設計	解体工事
			実績	サブコト完成	基本計画 ・設計	基本設計・ 地歴調査			
大型ビーチ・マリンスポーツイベントの誘致等		197	目標			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	誘致交渉	イベントの 開催
			実績			調査研究・ 目標設定			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
06

基本政策
01

政策
02

予算費目
01

所属コード
000625000

事業
04

(担当課)
スポーツ振興課

(責任者)
金子哲也

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会の開催
「ビーチ・マリンスポーツ事業化計画」に基づく各種事業展開について、ビーチ・マリンスポーツ推進協議会に加盟する競技団体による部会を開催し、意見聴取を行う。

・遠州灘海浜公園江之島地区整備基本設計(～2022.1)
江之島ビーチコートをビーチ・マリンスポーツ振興の拠点として再整備するにあたり、基本計画に基づき具体的な整備内容について整理し、基本設計を行う(2022年1月まで)。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会開催し、各競技団体と情報交換を実施した。
- ・遠州灘海浜公園江之島地区整備基本計画を基に施設の基本設計を実施した。
- ・基本設計の中で、各競技の地元の団体だけでなく、中央の団体とも意見交換を行い、意向を反映させた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・基本設計の中で行ったボーリング調査により、廃棄物層の存在が明白となり、土壌調査の必要性が生じた。
- ・土壌汚染対策法に基づく対応により、今後計画の遅延が想定される。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国内最大級の整備に向けて、ドームなど屋根の設置を要望されている。
- ・江之島ビーチコートに続く整備として、地区の検討を進める必要がある。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業化計画にて示したゾーニング別の施設整備等について、順次事業検討していく。
- ・江之島ビーチコートの計画遅延が見込まれる中で、官民連携による整備等、遅延を最小限に抑えるよう、事業手法を見直す。
- ・三ヶ日地区の基本構想を策定する。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【ビーチ・マリンスポーツ推進事業】【2019-2022重点戦略項目No.196】

- ・江之島ビーチコートの土壌調査を実施する。
- ・江之島ビーチコート整備に向け、民間活力を導入した発注手法の検討を行う。

・三ヶ日地区の基本構想を策定する。

・ビーチ・マリンスポーツ推進協議会部会を開催し、基本設計の進捗や大会・イベント開催に関する情報交換を実施する。

事業シート (事業名) 05 スポーツ発信交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「浜松シティマラソン」を開催し、市内外に浜松の魅力を発信するとともに、大会に携わるボランティアスタッフを募集し、大会参加者との交流の場を提供することで「するスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	119						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	21,234			16,000		
	決算	19,411					
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,000			8,000		
	一般財源	10,411			8,000		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,520	16,520	17,220	18,480		
人工	正規	2	2	2	2.6		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,931	16,520	17,220	34,480		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松シティマラソン中学生ボランティア数			目標		180	190	200	210	220
			実績	165	—	—			
デュアルモードでスポーツに取り組む機会の提供		119	目標			リモートランの検討	リアル・オンラインでのイベント実施		
			実績			リモートランの検討			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
06

基本政策
01

政策
02

予算費目
01

所属コード
000625000

事業
05

(担当課)
スポーツ振興課

(責任者)
金子哲也

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・2022年2月13日の開催を予定していた第18回浜松シティマラソンは中止。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2022年2月13日に開催を予定していた第18回浜松シティマラソンは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とした。
- ・大会の継続を目指し、ハーフマラソンコースの日本陸連の公認を更新した。(2022.1)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、浜松シティマラソンだけでなく、他都市のマラソン大会も相次いで中止となった。
- ・全国的に中止が多い中で開催した事例もあり、感染症対策に関する情報を集め、検討していく。
- ・浜松青年会議所から受けた提言等を踏まえ、魅力あふれる大会となるよう検討する。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・日本陸連のガイダンスを検証した結果、実施が困難と判断し中止を決定した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での安全な大会開催を目指す。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・コロナ対策を講じた上でウィズコロナの第19回浜松シティマラソンを開催する。

事業シート (事業名) 06 生涯スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ推進スローガン「1・1・1運動」の推進とスポーツ実施率の向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,228	77,452	67,666	68,064		
	決算	69,162	75,507	59,414			
	国・県支出						
	市債						
	その他	49,616	21,990	24,053	44,824		
	一般財源 一般会計繰入金	19,546	53,517	35,361	23,240		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	7,700	9,940		
人工	正規	1	1	1	1.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.3	
年間経費(予算又は決算+A+B)		76,162	82,507	67,114	78,004		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
年間学校開放施設利用者数(千人)			目標	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
			実績	1,532	1,159	1,286			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
 - ・市民スポーツ祭などを開催。
- 【スポーツ推進委員等活動支援事業】
 - ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
 - ・校区体育振興会や浜松市スポーツ協会支部が行う地域での体育活動への支援。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
 - ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
- 【地域スポーツ大会開催事業】
 - ・スポーツ大会の参加機会を提供することができた(一部中止)。
 - 【体育振興会等地域スポーツ振興事業】
 - ・各地域ごとに独自のスポーツイベントを開催し、地域スポーツの普及が図られた(一部中止)。
 - 【小中学校スポーツ施設開放事業】
 - ・学校スポーツ施設が有効利用され、地域住民のスポーツ振興が図られた。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各事業が縮小・中止となったものがあつた。
 - ・学校スポーツ施設についても緊急事態宣言等に伴い、利用時間を制限した期間がある。



6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・各競技団体の努力により、代替大会や規模を縮小しての大会開催を実施した。
 - ・施設再開後の小中学校スポーツ施設開放事業については、地域スポーツ活動の拠点として有効活用が図られた。
 - ・小中学校スポーツ施設開放事業における課題解決に向けて、一部のモデル校にてスマート化実証を行った。
- (2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・コロナ禍の中において、各競技団体等に大会等の実施に向けての助言・提案を行い、スポーツ機会の提供を継続する。
 - ・2021年11月から行っている小中学校スポーツ施設開放事業のスマート化実証を継続し、対象校拡大に向けて調整していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- 【地域スポーツ大会開催事業】
 - ・市民スポーツ祭などの開催。
- 【スポーツ推進委員等活動支援事業】
 - ・スポーツ推進委員の資質向上のために行う研修会などへの支援。
- 【体育振興会等地域スポーツ普及事業】
 - ・小学校区単位で設立された体育振興会や体育協会支部が行う地域での体育活動への支援。
- 【小中学校スポーツ施設開放事業】
 - ・社会体育振興のため、小中学校の体育館やグラウンド、柔剣道場等を広く市民に開放する。
 - ・スマート化実証の対象校拡大に向けて調整していく。

事業シート (事業名) 07 競技スポーツ振興事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

競技力の向上を目的とした選手育成事業の実施や全国大会出場者への激励金贈呈、競技スポーツに取り組む市民への活動を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	117						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	スポーツ実施率の向上により、健康寿命が延びていることを市民が実感できるようにする。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,260	10,256	10,369	11,050		
	決算	10,098	6,798	8,545			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	10,098	6,798	8,545	11,050		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)	4,900	4,900	4,900	5,460			
人工	正規	1	1	1	0.7		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.2		
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,998	11,698	13,445	16,510		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
高校生以下の全国大会出場者数 (人)		117	目標	870	876	882	888	894	900
			実績	812	231	651			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- 【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】
- ・浜松市実行委員会を組織し、選手選考会を実施してチーム編成を行い、静岡県市町対抗駅伝競走大会に、浜松市南部、北部、の2チームを出場させる。
- 【ジュニアスポーツ育成事業】
- ・市内の中学生で素質のある選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。
 - ・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、多くの団体が利用できるよう改正する。
- 【全国大会出場選手等激励事業】
- ・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、本市ゆかりの選手が国際大会で活躍したため、5人ものアスリートが「浜松市スポーツ特別賞」を受賞した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

【市町対抗駅伝競走大会】

・浜松市南部が2位、浜松市北部が優勝と2チームが好成績を収めた。

【ジュニアスポーツ育成事業】

・中体連主催の全国大会は中止となった。

【全国大会出場選手等激励事業】

・全国大会の中止が相次ぎ激励金の申請数が大きく減少した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国際大会、全国大会の中止が相次いだ。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・より多くの団体が活用できるよう、ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を改正したところ、多くの応募があった。

・数日のうちに募集を締め切ったが、当初予算額を超えた部分については、流用にて対応した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2021年度の状況を考慮し、ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金の予算額を増額した。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.117】

【静岡県市町対抗駅伝競走大会事業】

・浜松市実行委員会を組織し、選手選考会でチーム編成を行い、静岡県市町対抗駅伝競走大会に、浜松市南部、北部の2チームを出場させる。

【ジュニアスポーツ育成事業】

・市内の中学生で選抜選手を対象に、11種目の競技で強化練習会を開催し、競技力の向上を図る。

・ジュニアスポーツ競技力向上等事業費補助金交付要綱を見直し、多くの団体に補助金を活用してもらう。

【全国大会出場選手等激励事業】

・国際大会、全国大会へ出場する選手、コーチ、監督に激励金を贈呈し顕彰する。

事業シート (事業名) 08 スポーツ施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スポーツ施設の適正な管理運営、効果的な整備を行い、競技スポーツ・生涯スポーツの場を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	116	202	203				

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの関連性	スポーツ実施率の向上により、心身ともに健やかな生活を促し、市民一人ひとりの健康寿命を延伸させる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,877,265	2,062,190	1,873,550	1,378,945		
	決算	1,853,579	2,029,313	1,800,030			
	国・県支出		68,148				
	市債	368,200	152,600	333,400	14,700		
	その他	117,862	465,264	47,705	186,712		
	一般財源 一般会計繰入金	1,367,517	1,343,301	1,418,925	1,177,533		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,200	21,000	19,600	17,500		
人工	正規	3	3	3	2.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,871,779	2,050,313	1,819,630	1,396,445		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
生涯スポーツ施設の利用者数(千人)		116	目標	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
			実績	5,417	3,746	4,447			
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた静岡県との協議		202	目標	県協議 (基本計画)	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
			実績	県協議 (基本計画)	県協議	県協議			
四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討		203	目標	委員会協議	整備方針策定	整備方針策定	方向性の検討	方向性の検討	基本構想
			実績	委員会協議	委員会協議	委員会協議			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	02	01	000625000	08	スポーツ振興課	金子哲也	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022重点戦略項目No.116】

- ・民間事業者への委託等によりスポーツ施設55施設の管理運営を行った。
- ・機能維持・向上のための修繕工事等を実施した。

【2019-2022重点戦略項目No.202,203】

- ・県立野球場の整備に向けての県との連携協力を行った。
- ・四ツ池公園運動施設の整備検討を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、8月12日から9月30日まで施設の20時以降の利用を休止したことにより利用者数が伸び悩んだ。
- ・2020年度に引き続き、指定管理者と連携し感染防止対策を講じ、安心して利用できる環境を整えた。
- ・江之島ビーチコートを整備していくため、既存のアーチェリー場を隣接敷地内に新たに移設・整備した。
- ・浜松球場高圧受電設備改修工事を実施し、施設内への電力の安定供給を図るなど、機能維持に必要な工事を実施した。
- ・静岡県野球場基本計画策定に向け、県との情報交換を行った。
- ・四ツ池公園運動施設については、特別委員会において検討を行うなど、整備方針策定に向けた取り組みを進めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・陸上競技場第2種公認更新のための改修工事のような大規模な工事が無かったことにより事業費が縮小した。
- ・施設の機能維持のため計画的に修繕工事を実施していく必要がある。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・安全性の確保を最優先とし、計画的に修繕を進めるが、老朽化した施設が多いため、施設の統合・縮小・廃止などの検討を行う。
- ・四ツ池公園運動施設については、県の動きを踏まえ、方向性を決定する必要がある。
- ・指定管理の更新時には、利用者の声を反映し、より効果的な施設の組み合わせを検討する。
- ・ToBiOの次期事業の事業者選定に向けたアドバイザー業務を実施し、円滑な事業更新の準備をしていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.116】

- ・感染症対策を講じた上で指定管理者への委託等により、スポーツ施設を管理運営する。
- ・浜松アリーナ空調設備工事(1期目)や浜松アリーナ舞台機構改修工事など施設の機能維持のための工事を実施するとともに、老朽化に伴う天竜体育館大規模改修工事を2023年度にかけて実施していく。
- ・ToBiOの次期事業の事業者選定に向けたアドバイザー業務を実施する。

【2019-2022重点戦略項目No.202,203】

- ・四ツ池公園運動施設については、県の動きを踏まえ、特別委員会で協議のうえ整備の方向性を決定する。整備方針策定後は、基本構想策定に向けたサウンディング調査を行う。
- ・静岡県の野球場の整備に向けて、県との連携協力を行う。

補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 08 スポーツ施設運営事業

◇【2019～2022】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
116	市民が楽しく安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設環境の整備を進めていく。	市民が楽しく安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設環境の整備を進めていく。	市民が楽しく安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設環境の整備を進めていく。	市民が楽しく安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設環境の整備を進めていく。
202	・県営野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画等策定に向け県との協議を行う。	・県営野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画等策定に向け県との協議を行う。	・県営野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画等策定に向け県との協議を行う。	・県営野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画等策定に向け県との協議を行う。
203	・四ツ池公園運動施設再整備について特別委員会で協議を行う。	・四ツ池公園運動施設再整備について特別委員会で協議を行い、整備方針を策定する。	・四ツ池公園運動施設再整備について特別委員会で協議を行い、整備方針を策定する。	・県による遠州灘海浜公園(篠原地区)整備に向けた動向を踏まえ、四ツ池公園運動施設の整備方針を策定する。

事業シート (事業名) 09 スポーツ施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市スポーツ施設整備基金の積立金。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1975	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500,242	464	489	213		
	決算	500,192	264	389			
	国・県支出						
	市債						
	その他	192	264	389	213		
	一般財源 一般会計繰入金	500,000					
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		280	560	560	700		
人工	正規				0.1		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		500,472	824	949	913		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
06

基本政策
01

政策
02

予算費目
01

所属コード
000625000

事業
09

(担当課)
スポーツ振興課

(責任者)
金子哲也

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

浜松市スポーツ施設整備基金の運用益や市民からの寄附金を積み立てる。なお、基金は条例に基づきスポーツ施設の整備費に充当する。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・運用益を基金へ積み立てた。

2021年度末基金残高=686,632,692円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2021年度は一般財源からの積み立てがなく、運用益収入のみであったため、事業費は縮小した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金を有効に活用し、計画的な施設整備に努める。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

浜松市スポーツ施設整備基金に関する条例に基づき、基金の運用益を基金に繰り入れし積み立てる。また、市民、民間事業者などからの寄附金があれば、基金に積み立てる。基金はスポーツ施設の整備費に充当するときに処分する。

事業シート (事業名) 10 スポーツ文化推進運営経費(一般経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,633	9,591	9,848	9,569		
	決算	10,681	8,346	9,215			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	10,681	8,346	9,215	9,569		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		11,480	10,780	12,180	6,580		
人工	正規	2	2	2	0.9		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0	0	0	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		22,161	19,126	21,395	16,149		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

06

01

02

01

000625000

10

スポーツ振興課

金子哲也

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

小項目

/

事業費

人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

小項目

/

事業費

人工

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)



--